

事業の基礎情報

実施主体	NPO法人 次世代空港技術研究会
事業実施地域	北海道 登別市・千歳市
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創 （交通、宅配・物流）
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ こども・子育て ・ 教育・スポーツ・文化 ・ 商業・農業 ・ 宅配・物流 エネルギー・環境 ・ 地域・移住 ・ 金融・保険 ・ 観光・まちづくり ・ その他
共創パートナー	次世代空港技術研究会・JR北海道・北海道空港・全日空・日本航空・ヤマト運輸・富士通コンポーネント
運行形態	①実証事業として運行する交通モード（鉄道） ②一般貨物自動車運送事業
運行主体	JR北海道・ヤマト運輸

現状・課題

(地域交通の現状・課題に関する分析)

- ・オーバーツーリズムによる大型の手荷物を持参した乗降客により、JR北海道 登別駅にて特急列車等で遅延が発生し、地域住民の利便性が低下。
- ・新千歳空港に於ける旅客手荷物チェックイン手続き待ち行列の発生、空港スタッフ不足による航空機への手荷物搭載の滞留。
- ・手荷物が、地域観光行動を阻害しており、登別温泉の集客力を広域な地域経済活性化に寄与できていない。

事業開始:令和5年度 PoCオフエアポート・チェックイン実証事業における課題 ①OAC受付システム（Andriod 対応のみ・旅客位置情報アプリの不備）
②地域交通に及ぼす影響調査不備、③タグ発行の2重対応にて作業複雑化と人工が必要、④空港での手荷物情報取得もれが発生 等

* OAC : OFF AIRPORT CHECK-IN

地域公共交通計画への位置づけ
（位置づけ予定を含む）

有
登別市地域公共交通計画

運輸局・運輸支局への事前相談

北海道運輸局

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

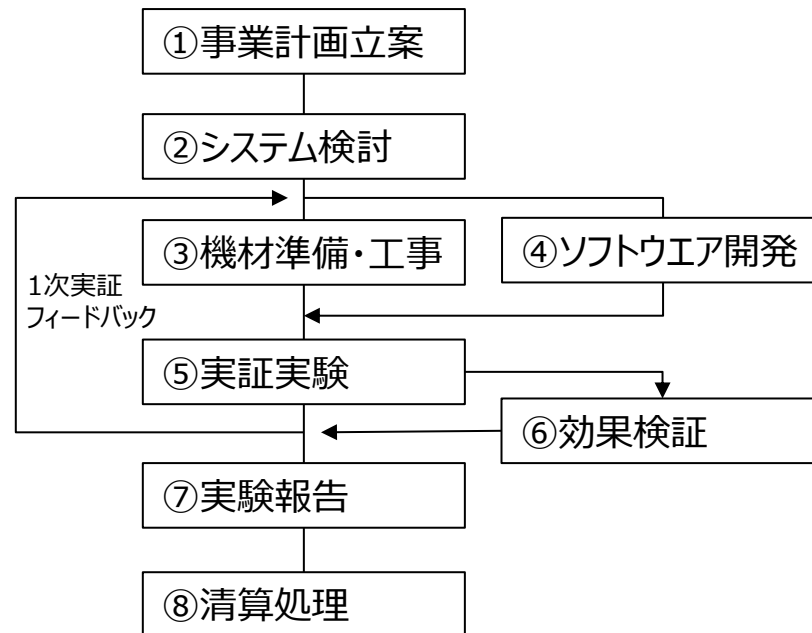
有

令和5年事業からの改修点として、OAC受付システムのVer.UP（ipad対応・旅客位置情報アプリ改修）、事業実施地域の変更（登別市→新千歳空港）、地域交通に及ぼす影響調査の拡充（調査のWEB対応・位置情報による旅行軌跡）、航空会社DCS連携によるRFIDタグ発行による実運用モデル化、空港でのSBD利用等

事業実施手順・スケジュール

対応日程案

2024										2025				
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
体制構築			▼共創「MaaS事業（2次）」申請											
・自治体・運輸局調整														
・協定・協業先設定														
・事業計画														
・事業コスト算出			◆交付申請											
			▲採択											
運用設計														
			宿泊・交通実態基礎調査											
			実証効果測定											
システム設計Ver.1.2			システム開発Ver.1.2											
			システム設計Ver.1.5											
			システム開発Ver.1.5											
*モバイル端末未発行			*CUSS端末発行を予定											
*追跡アプリ評価			*国際線対応検討											
			★実証実験①											
			★実証実験②											
			機器手配											
			設置											
			機器手配											
			設置											
見積照会			▼清算処理											
位置情報アプリ開発・評価														
			報告・会議△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											
			△											



- ①運用協議・プロモーション・事前調査等については、共創プラットフォームの全事業主体及び登別市等の協働にて対応。
JR北海道・ヤマト運輸・北海道空港にてOAC運用方法を7月末までに立案。総括は次世代空港技術研究会（ARTA）。
- ②日本航空・全日空・機器メーカ（FCLC）・ARTAにて運用システム設計を担当。
- ③主にFCLC・ARTAにて準備。
- ④OACシステムのアプリ Ver. UP（23年度からのシステム変更）は、ARTA及び協力先である埼玉大にて担当。
手荷物対応の専用システム設計はFCLC・ARTAにて8月下旬をメドに実施する。
日本航空・全日空とのDCS連携については両社の他、ARTA・FCLC等にて協働対応する。
- ⑤第1次実証：2024年内に2日間。第2次実証：2025年2月4日～11日・8日間を予定する。
*第2次においては、1次実証での修正改善と共に、OAC窓口での使用機器のさらなるVer. UPを実施。
- ⑥OAC実証実験による列車遅延・混雑回避の効果測定を実施。
- ⑦⑧全事業主体にて対応。総括はARTAにて担当。

取組の詳細

(地域交通にもたらされると想定される効果)

- ・地域交通（JR北海道）における運行遅延の防止（手ぶら旅行の実現にて乗降時間の短縮・乗車混雑の回避）。
- ・地域交通におけるオーバーツーリズムによる住民の乗車積み残しの改善等にて、地域住民の利便性を向上する。
- ・OAC利用者位置情報解析により、登別周辺観光の実態把握に基づく新たな観光交通計画の策定。

(地域全体に及ぶと想定される効果)

- ・観光客の広域周遊による地域経済活性化、地域交通の路線維持に貢献。
- ・OAC利用者に対する新千歳空港におけるFAST TRAVELの推進。空港利用者の手荷物チェックイン待ち行列の緩和。
- ・事前調査にて取得した、新千歳空港出発旅客の北海道内最終宿泊地の調査結果を登別市と共有し、地域の交通計画へ反映する。

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

☐	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上	☐	貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
☐	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	☐	通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

(補助事業実施後の予定)

- ・24年度 実証実験結果に基づく課題・問題点の抽出を図り、実運用モデルとしてのOAC運用企画検討を2024北海道OAC協議会メンバーにて実施する。
検討項目：費用対効果、ビジネスモデルとして成立性、IATA・TSAとの運用調整
- ・25年度 各地域でのオフエアポート・チェックインの横展開を可能とする運用モデルの設定。
 - ・OAC運用主体の設定・事業役割・収益分配方法・料金收受の方法・手荷物セキュリティ対策の制度設計。
 - ・OAC窓口の設置主体としては、空港・航空会社・地方公共団体・イベント主催者などが想定される。
- ・25年度～繁忙期・イベントにおけるOACのテンポラリー対応を志向する。
 - ・年末年始、ゴールデンウィーク、夏季、地域イベント、コンサート等。

IATA: International Air Transport Association
TSA: Transportation Security Administration

資金面	各事業主体による自己資金対応
人材面（運転手の確保）	空港チェックインカウンタ係員及びグランドハンドリング作業者の省力化に寄与。